

ベトナム人留学生の日本語学習についての意識 —中日本自動車短期大学での聞き取り調査をもとに—

Hoang Phuong Thuy

1. はじめに

2011年10月現在、中日本自動車短期大学には25人のベトナム人留学生が在籍し、うち21人が留学生別科で日本語を学んでいる。このうち、2011年春ならびに秋に来日した14人を対象に日本語学習についてアンケートを行った。アンケート結果に基づいてベトナム人留学生の日本語学習についての意識を報告する。また、ベトナム人留学生に対する日本語の授業のあり方について提案をする。

2. 動機

筆者はベトナム・ハノイにある日本語教育機関に所属している。当機関は主に渡日研修前の日本語教育を行っており、独自のノウハウを蓄積し、一定の成果をあげている。しかし、留学生に対する日本語教育については、まだ手探りの状態である。また、当機関で授業を受け持つのは主としてベトナム人でありベトナム語による語彙・文法解説に偏る傾向にある。そのため、受講生の聴解力、会話力は弱い。この点は改善の余地がある。そこで筆者は当機関の派遣により提携先である中日本自動車短期大学において、2011年4月から10ヶ月間の教育研修を受けることとなった。

日本で直接日本語の教育現場に触れるのは初めてのことで、研修開始以来極めて多くの収穫があった。一方、筆者がベトナム人であることから、ベトナム人留学生からさまざまな相談を受けることもあった。特に日本語学習についての悩みを聞くことが多かった。その悩みはベトナム語を母語とする筆者にとっては予期可能なものが多いが、中には教える側の思いとのギャップが感じられるものもあった。

中日本自動車短期大学留学生別科はこれまで複数の国から留学生を受け入れているが、中国に提携校があるため、学生数の上では中国人留学生が多くを占める。ベトナム人留学生をまとめた数で受け入れるようになったのは2010年9月からで、比較的新しい。ベトナム人への個別の学習支援のノウハウという点では未知の部分がある。

以上のことから、中日本自動車短期大学留学生別科のベトナム人留学生に、日本語学習についての意識調査を行おうと考えた。その結果を整理し、筆者の所属機関の日本語教育の改善を提言

したい。

3. アンケート調査の方法

アンケートは、中日本自動車短期大学留学生別科のベトナム人留学生を対象に、一対一の面談方式で行った。アンケート用紙の項目選択や記述などの書面方式を採用しなかったのは、筆者と学生がリラックスした雰囲気の中で母語を使った対話を行うことで、より本音に近い実態が正確に把握できると考えたからである。

●実施期間：2011年10月27日

●調査対象者：ベトナム人の留学生14人

2011年4月来日生6人（在日歴7ヶ月）

2011年9月来日生8人（在日歴2ヶ月）

日本語レベルは日本語能力試験N4程度

●調査方法：個別面談

4. 調査の結果

以下、調査の結果を述べる。なお、巻末に調査結果の全体を資料として附した。

(1) 日本語の文字で何が一番難しいか

日本語の文字には平仮名、カタカナ、漢字の3つがあることを筆者が提示し、そのうちどれが一番難しいと感じているかを聞いた（一つ選択）。その結果、14人全員が漢字と答えた。その理由は書き方が難しいから、読み方を覚えにくいからということであった。

(2) 来日後、日本語の勉強で困っていること

来日後の日本語学習で困っていることを聞いた（複数回答可。以下、すべての質問は複数回答を可とした）。その結果、「会話」をあげたものが6人と最も多かった。次に「聴解」で4人であった。「漢字」は2人、「文法」は1人と少なかった。

(3) 帰宅後、寮で何をどのように勉強しているか

授業後、寮での自主的な学習として何をしているかを聞いた。その結果、「漢字」と「語彙」がともに8人と最も多かった。次に「文法」が7人であった。家庭学習は「漢字」、「語彙」、「文法」の3つであることがわかる。また、寮ではどのように勉強しているかと聞いたところ、「書く練習」が「読む練習」よりも多い。

(4) 寮で勉強するとき困ること

寮での自主学習のとき困ることについて聞いた。その結果、「ない」と答えたもの8人と最も多かった。「勉強してもすぐ忘れること(3人)」、「分からないとき誰も聞けないこと(2人)」、「会話練習が出来ないこと(1人)」という意見が出た。

(5) 勉強したいと思うもの

現在、勉強したいと思うものを聞いた。その結果、「会話」が7人と最多、次に「聴解」が6人と多かった。「文法」、「漢字」、「語彙」はいずれも3人だった。

(6) 授業で教えてほしいもの

授業で教えてほしいものを聞いた。その結果、「会話」が10人と最多、次に「文法」が7人と多かった。「聴解」は4人、「漢字」は3人であった。

この調査の結果によって、以下のことがわかる。

(ア) 文字については学生全員が「漢字が一番難しい」と回答した。この結果は筆者の予想と一致する。ベトナムはもともと漢字文化圏に属する国であるが、現在は完全にラテン文字に置き換わっている。学生たちは日本語の学習を始める前は、漢字を学ぶ機会がない。教師側の視点からすると、ベトナム人学生の漢字習得の困難さは、中国人学生との比較でも、明確である。

(イ) ベトナム人留学生が授業に期待するものは、「会話」、「聴解」である。「漢字」学習は寮での自主学習で補っていることがわかる。「漢字」、「語彙」など「書いて」覚える勉強は寮ですればよいと考えており、授業ではむしろ「会話」、「聴解」など一人でしにくい学習活動をしてほしいと思っている。

(ウ) 勉強のことで困っていること、もっと勉強したいことのいずれも「会話」が最も多い。特に、留学生の話の中からは、日本で生活しているにもかかわらず、会話力は大幅向上していないというもどかしさを感じた。その背景として、教師以外の日本人と話す機会が少ないこと、友達とベトナム語しか使わないことなどが考えられる。また、授業でもっと教えてほしいこととして「会話」にならび「聴解」が多いことから、日本語の聞き取りに自信がなく日本人とのコミュニケーションを遠慮しがちである実態がうかがわれる。

以上をまとめると、次のようになる。

ベトナム人留学生は日本人との会話力を向上させたいと思っている。授業では日本人とのコミュニケーションの土台となる「会話」と「聴解」を教えてほしいと考えている。

日本語の文字のなかで「漢字」が一番難しいと感じているが、「漢字」は寮で自習すればよいと考えている学生がいる。しかし、教師の目からすると、実際は漢字の読み書きの力が向上していない学生が見うけられる。

5. ベトナムの日本語教育機関での日本語教育への提案

以上をもとに授業改善の提案を行う。

(1) 学生の学習志向に応じて、授業では日本社会でのコミュニケーション力アップを重視した学習活動を多く取り入れる。

(2) 漢字学習については、学生が定期的に家庭学習を続けられるよう側面から支援する。同時に、漢字学習の重要性を授業の中で強調する、漢字を苦手とする学生を対象に補講をするなどの教師からの働きかけが必要である。

6. 今後の課題

以上、学生のアンケートをもとに提案をおこなったが、個々の学生の意識の変化を経年的に見ることが必要であろう。特に、中日本自動車短期大学の自動車専門課程（国際自動車工学科・自動車工学科・専攻科）に入学以後の変化である。自動車工学の専門用語は抽象的な概念が漢字で示されていることが多いので、特に漢字習得に対する意識能力の変化を考察したい。また、中国人留学生との比較を行うことや、教師側の意識を調査することも必要だと思う。

7. おわりに

このアンケート結果は、中日本自動車短期大学において留学生の学習支援へのヒントになるだけでなく、筆者の所属機関での教育カリキュラムの作成、教授法に役に立つと考えている。

『いい先生は生徒に知識を気づかせる先生である。素晴らしい先生は、生徒の心に火をつける先生である。』という名言がある。中日本自動車短期大学に来てから、かつて経験したことのない教育現場の雰囲気の中、実践的な研修を受けることができた。特に、会話、漢字、文法、語彙の指導方法で多くの発見があり、いくつかを身に付けることができた。

ご指導いただいた留学生別科の諸先生方に心よりお礼を申し上げますとともに、本稿が中日本自動車短期大学の日本語教育の一助となれば幸いです。

【資料】

アンケート調査の結果

1. 日本語の3つの文字の中でどれが一番難しいですか？（一つ選択する）

- ①平仮名：0人
- ②カタカナ：0人
- ③漢字：14人（書き取り、読み方などが覚えにくいから。）

2. 来日の後、日本語の勉強で困っていることは何ですか？（いくつ選択してもいいです。）

- ①会話：6人
- ②聴解：4人
- ③語彙：3人
- ④漢字：2人
- ⑤無し：2人
- ⑥発音：1人
- ⑦文法：1人

3. 帰宅後、寮で主に何を勉強しますか。（いくつ選択してもいいです。）

- ①漢字：8人
- ②語彙：8人
- ③文法：7人
- ④聴解：2人

寮では主にどのように勉強していますか？

- ①書く練習：9人
- ②読む練習：3人
- ③書く練習、読む練習：2人

4. 寮で勉強するときに困ることは何ですか？（いくつ選択してもいいです。）

- ①無し：8人
- ②よく勉強したのに、すぐ忘れること：3人
- ③分からない時、誰も聞けないこと：2人
- ④会話練習が出来ないこと：1人

5. 今、何をもっと勉強したいですか？（いくつ選択してもいいです。）

①会話：7人

②聴解：6人

③文法：3人

④漢字：3人

⑤語彙：3人

6. 授業ではもっと何を教えて欲しいですか？（いくつ選択してもいいです。）

①会話：10人

②文法：7人

③聴解：4人

④漢字：3人

⑤読解：1人

⑥今のままで良い：2人

追記 筆者は株式会社ITM（本社：ベトナム，ハノイ）の日本語センターに所属し，日本語教育を担当している。中日本自動車短期大学において2011年4月12日から2012年1月31日まで日本語教育に関する研修を受けた。